

第 12 講 イギリス革命・アメリカ独立革命

① 次にあげるイギリス王朝を年代順に並べ替えなさい。

- ①ステュアート朝 ②プランタジネット朝 ③テューダー朝 ④ノルマン朝 ⑤ハノーヴァー朝
④→②→③→①→⑤

② 正しい文章に直しなさい(誤り3点)

ジェームズ 1 世は、**カトリック**を強制し、王権神授説を信望したことで議会と対立した。さらに、その子チャールズ 1 世の時は議会から提出された「**権利の章典**」を無視したことで議会と対立、**アイルランド**反乱を機にその対立は激化した。

カトリック→英国教、権利の章典→権利の請願、アイルランド→スコットランド

③ピューリタン革命について正しく述べた文を選べ。

- ①ピューリタンとは、**カトリックの一派**のことである。
カルヴァン派の一派
- ②**国王は議会と妥協し、マグナ=カルタを承認した。**
時代が違う
- ③**クロムウェルはピューリタンを弾圧した。**
クロムウェルはピューリタン
- ④**この革命の結果、共和政が成立した。**
正解

④ 正しい文章に直しなさい(誤り3点)

17 世紀半ば、**独立派**を追放し国王が処刑されたイギリスでは、航海法が発布され、**フランス**との戦争を引き起こした。その後、護国卿に就任し、**カトリック**的な独裁政治を敷くが、死後に王政が復古することとなった。

独立派→長老派、フランス→オランダ、カトリック→ピューリタン

⑤ イギリスの王政復古～名誉革命に関する文として、正しいモノを1つ選べ。

- ①**ジェームズ 2 世**で王政が復古した。
チャールズ 2 世が王政復古
- ②議会は**印紙法**を発布し、国王に対抗した。
審査法
- ③革命により、新国王を**オランダ**から招いた。
正解
- ④革命後にスコットランドが**分離独立**した。
併合した(1707)

⑥ アメリカ独立戦争の背景に関する文として、正しいモノを1つ選べ。

- ①本国による**重農主義**政策に対抗した。
重商主義
- ②フレンチ=インディアン戦争以降に独立気運が高まった。
正解
- ③植民地人は**茶法**を発布して対抗した。
茶法は本国が発布
- ④大陸会議で**独立戦争への弾圧が決定**した。
独立戦争をすることが決まった

⑦ 次の事項について、年代順に並べ替えなさい。

- ①ボストン茶会事件 ②独立宣言 ③ヨークタウンの戦い ④合衆国憲法制定
①→②→③→④

⑧ 独立戦争に関する文として、正しいモノを1つ選びなさい。

①「独立宣言」では**婦人参政権が認められた**。 ②植民地人の**大半は愛国派**で、忠誠派・本国軍と戦った。

婦人参政権は **1920年**

愛国派は 1/3、忠誠派は 1/3

③**独立戦争後**にペインは『コモン=センス』を著した。 ④ラ=ファイエットら義勇兵は独立側を支援した。

独立戦争中に...

正解

⑨ 正しい文に直しなさい(誤り2点)

ルイ 16 世時代のフランスやスペインの支持、ロシアの**ピョートル 1 世**の提唱による武装中立同盟結成で、イギリスはますます孤立して、**ワシントン条約**でアメリカの独立を承認した。

ピョートル 1 世→エカチェリーナ 2 世、ワシントン条約→パリ条約

⑩ **州権限の強化を訴えた**グループとその代表者の組み合わせとして、正しいものを1つ選びなさい。

①連邦派(ハミルトン) ②連邦派(ジェファソン) ③反連邦派(ジェファソン) ④反連邦派(ハミルトン)

③が正解